

日 時 平成 18 年 1 月 10 日（火）13：30～21：45
 場 所 西宮市大学交流センター、西宮市男女共同参画センター（18:00～）
 出席者 （委員）松本（誠）、奥西、川谷、畑、村岡、長峯、岡田、加藤、佐々木、
 田村、中川、浅見、法西、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲
 （河川管理者）田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
 （農林水産部）福田、鶴崎 （河川整備課）玉置 （公園緑地課）橘
 （公園都市整備課）松村
 （事務局）黒田、前田、植田、木本

内 容(協議結果)

1 流域対策の検討

「武庫川総合治水・流域対策の活用可能性一覧」の各対策について、次のとおり整理(「基本方針盛り込み」及び「基本高水対応」の仕分け等)を行った。

第 3 2 回流域委員会には、流域対策の活用可能性を整理したものを取りまとめて、流域対策の骨格として提案できるよう協議を行う。

「基本方針盛り込み」：効果の数値化の可否にかかわらず、基本方針に盛り込み、流域対策として推進するもの

「基本高水対応」：基本方針に盛り込んだ対策のうち、効果を適正に数値化できるもの

(1) 各対策の整理

「森林」については、以前に整理（総括）したとおりとし、基本方針に盛り込む。

「基本高水対応」については、他の数値化が困難な対策とあわせて別途整理する。

「利水ダム」については、「基本方針盛り込み」とするが、「基本高水対応」の数値化については、青野ダム・山田ダム・深谷池を対象とし、別途検討する。超長期的な課題として改修時期に合わせた千苅ダムも検討する。

「水田」については、せき板による水位操作を行う対策として「基本方針盛り込み」とするが、「基本高水対応」の数値化については、別途検討する。

「ため池（嵩上げ、市街地ため池の水位下げ）」については、「基本方針盛り込み」とするが、数値化するにあたって個々のため池の事情を確認の上、治水効果をもたせることができるかどうか検討する。なお、検討にあたっては、まず、これまでの意見書、提案等をふまえ、具体的なため池（可能性のあるもの）の選定を行う。

「公園」等その他の対策については、次回に協議、整理する。

(2) その他

「遊水地」(非河川施設、河川施設とも)については、現時点で検討が不十分であるため、採用、不採用の整理は行わない。

「河道対策」については、ダムも含むこととするが、流域対策とは切り離して別途協議する。

2 その他

(1) 次回会議の協議事項

流域対策の検討（整理表の協議等）

(2) 今後の日程（開催日時）

第 18 回 1 月 13 日（金）10：00～（場合によっては午後も継続する）

第 19 回 1 月 20 日（金）17：30～

第 20 回 1 月 26 日（木）13：30～17：00